

資料・統計

2005年悪性疾患入院患者統計

Statistics of Inpatients with Malignancy in 2005

新潟県立がんセンター新潟病院

情報調査部 病歴室

2005年の悪性疾患入院患者統計について報告する。

悪性疾患入院患者の基礎資料 (表1)

悪性疾患登録の新規登録疾患数は2,780(前年2,846)と66件(-2.3%)減少した。2005年は病床稼働率92.6%(前年93.4%)、平均在院日数15.0日(前年14.7日)であり、入院延べ患者数は11,217で前年より364(-3.1%)減少したことを反映し、悪性疾患患者の取り扱いもわずかながら減少した。

悪性新生物疾患別数の推移 (表2)

悪性新生物の新規登録患者数を部位別にみると、胃(+60)及び肝胆膵(+20)では増加していたが、食道(-33)・皮膚(-22)・乳房(-32)・子宮頸(-39)では減少していた。その他の部位では前年とほとんど変動は無かった。

全疾患に占める悪性新生物比率の推移 (表3)

疾患別患者実数に占める悪性疾患入院患者実数の割合は、66.5%で前年(66.3%)とほぼ同様であった。また、入院患者延べ数上でのがん患者比率は81.3%(前年81.6%)、さらに平均在院日数を考慮した、実際の病床利用上でのがん患者比率(がん専門病床割合)では82.9%(前年83.6%)であり、実際の入院患者で見れば、当院では8割以上ががん患者であり、当院のがん専門診療施設としての特殊性が定着したと言える。

診療科別入院患者悪性疾患比率 (表4)

入院患者延べ数における悪性疾患患者比率は全体で81.3%と、前年(81.6%)とほぼ同様の結果であった。科別に見ると、皮膚科が86.3%と前年(78.3%)より上昇しているのが目立ったが、その他の診療科では悪性患者比率に大きな変動は無かった。小児科・外科・呼吸器外科・放射線科では、ほぼ9割以上ががん患者である。死亡患者数は総数520(前年478)、悪性478(同448)と前年よりやや増加し、91.9%が悪性患者であった。剖検数は28件(同22)で、剖検率は5.4%であった。

診療科別・在院期間別・性別退院患者数 (表5)
および病類別・在院日数別患者数 (表6)

性別退院患者総数では男性5,026(前年5,098)、女性6,191(同6,483)と女性患者の減少が目立ち、女性52.0%、男性48.0%であった。乳がん及び婦人科がんの患者の減少を反映した結果と思われる。

平均在院日数は良性疾患では13.8日(前年14.0日)とわずかに短縮したが、悪性疾患では15.3日(同15.0日)で、全体で15.0日(前年14.7日)とわずかに延長した。しかしこの数値は全がん協加盟30施設中最短であり、がん専門診療施設での限界値と思われる。

2005年の追跡調査

近年の悪性疾患登録数の著増に伴い、44年間の登録総数は52,534例に達し、登録後20年未満の追跡調査対象患者数は33,993例となった。このうち1年以内の当院外来受診歴のない4,794例に対しては郵送による直接照会を行い、3,681例(76.8%)から回答を得た。回答が得られなかった患者のうち、2006年での生存が確認できなかった574例に対してはさらに市町村(県内35、県外63)に戸籍照会を依頼すべく、法務省に許可を申請中である。昨今の市町村合併に伴い、本籍地の再入力作業などが必要なため、戸籍照会が例年より遅れているが、全例消息判明の予定である。しかし2005年の個人情報保護法の制定や最近の患者のプライバシー意識の高まりなどにより、直接照会・戸籍照会ともに厳しさを増してきており、郵送による直接照会の是非、追跡期間の短縮(10年)、住民票照会の省略など、予後調査の方法につき再検討すべき時期と思われる。

2007年4月よりがん対策基本法が施行され、がん医療には現在大きな追い風が吹いてきている。その具体的施策を示したがん対策推進基本計画では、がん診療連携拠点病院を中心に院内がん登録を充実させることが明記されている。当院の院内がん登録はその量(対象疾患数・患者数)、質(登録内容・予後調査の精度)とも全国的に高く評価

されているが、今後は国の定めた標準様式にも対応する必要があり、現在その移行作業中である。ICD-O-3による部位コード、UICCルールによるTNM分類・ステージ分類など、煩雑な項目が追加されており、がん登録に要する労力はますます増

加してきている。さらに2007年分からは外来患者のがん登録も開始予定であることから、医局はじめ関係部署の一層のご協力をよろしく願う次第である。

表1 2005年悪性疾患入(退)院患者統計

2005年の悪性疾患入院患者の基礎資料

1. 2005年の悪性疾患登録患者数 (実数)	2,506	
2. 2005年の悪性疾患登録疾患数	2,780	
内訳：本年初登録で単疾患	2,422例,	2,422疾患
本年初登録で複数疾患	84例,	171疾患
既登録で本年初発疾患	174例,	187疾患
3. 2005年の悪性疾患入院患者実数	3,918	
'04年以前の登録患者も含む		
4. 2005年の入院加療悪性疾患患者延数	9,124	
同一年の再入院も含む		
5. 2005年の総入院患者実数	5,532	
6. 2005年の総入院患者延数	11,217	

表2 悪性新生物疾患別数の推移 (実数)

部位等 (ICD10)	2003年	2004年	2005年
口唇,口腔および咽頭の悪性新生物 (C00~C14)	71 (45)	72 (44)	66 (37)
食道の悪性新生物 (C15)	158 (107)	185 (143)	169 (110)
胃の悪性新生物 (C16)	468 (388)	447 (372)	507 (432)
小腸の悪性新生物 (C17)	6 (5)	6 (5)	12 (10)
結腸の悪性新生物 (C18)	199 (156)	217 (181)	215 (178)
直腸,直腸S状結腸移行部および肛門の悪性新生物 (C19~C21)	108 (80)	123 (97)	141 (108)
肝および肝内胆管の悪性新生物 (C22)	61 (32)	75 (34)	84 (57)
胆嚢および肝外胆管の悪性新生物 (C23,C24)	52 (40)	52 (35)	43 (32)
膵の悪性新生物 (C25)	73 (50)	79 (58)	84 (58)
その他消化器および腹膜の悪性新生物 (C26,C48,C45.1)	8 (3)	5 (3)	8 (4)
喉頭の悪性新生物 (C32)	53 (35)	47 (28)	52 (40)
気管,気管支および肺の悪性新生物 (C33,C34)	540 (343)	601 (409)	596 (406)
その他呼吸系および胸腔内臓器の悪性新生物 (C30,C31,C37~C39,C45.0,C45.2)	22 (14)	23 (16)	16 (10)
骨および関節軟骨の悪性新生物 (C40,C41)	16 (6)	9 (3)	13 (9)
皮膚の悪性新生物 (C43,C44,C46)	58 (44)	90 (79)	70 (57)
乳房の悪性新生物 (C50)	483 (332)	525 (358)	509 (326)
結合組織およびその他の軟部組織の悪性新生物 (C47,C49)	19 (12)	15 (7)	23 (18)
子宮頸の悪性新生物 (C53)	86 (64)	118 (96)	78 (57)
その他子宮の悪性新生物 (C54,C55)	51 (33)	74 (57)	75 (54)
その他女性生殖器の悪性新生物 (C51,C52,C56~C58)	70 (42)	98 (54)	108 (59)
前立腺の悪性新生物 (C61)	242 (211)	253 (227)	244 (206)
膀胱の悪性新生物 (C67)	142 (73)	158 (87)	152 (76)
腎および腎盂の悪性新生物 (C64,C65)	82 (58)	95 (74)	90 (68)
その他の泌尿生殖器の悪性新生物 (C60,C62,C63,C66,C68)	35 (28)	40 (30)	46 (32)
脳の悪性新生物 (C71)	7 (6)	75 (1)	6 (5)
その他および部位不明の悪性新生物 (C69,C70,C72~C80)	110 (75)	136 (110)	137 (90)
再掲 [甲状腺 (C73)]	74 (53)	90 (76)	83 (61)
白血病 (C91~C95)	91 (43)	106 (58)	103 (49)
その他のリンパ組織および造血組織の悪性新生物 (C81~C85,C88,C90,C96)	182 (81)	194 (105)	179 (95)
上皮内癌 (D00~D09)	68 (70)	75 (75)	92 (97)
計	3,561 (2,476)	3,923 (2,846)	3,918 (2,780)

() 悪性疾患登録数

表3 悪性疾患入院患者実数の年間推移(実数および比率)

	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年
悪性疾患入院患者実数	2,742	2,918	2,843	3,138	3,561	3,923	3,918
%	53.22	54.82	55.18	58.51	62.30	66.30	66.47
疾患別患者実数	5,152	5,323	5,152	5,363	5,716	5,917	5,894

表4 診療科別入院患者悪性疾患比(延べ数,重複あり,死亡・剖検は実数)

診療科	悪性疾患患者 (%)	入院患者数	死亡数		剖検数	
			悪性	総数	悪性	総数
内科	2,342 (79.2)	2,956	246	277	16	22
神経内科	1 (2.6)	38	—	2	—	—
小児科	407 (88.3)	461	2	2	2	2
耳鼻咽喉科	207 (80.5)	257	18	18	—	—
外科	3,673 (94.5)	3,886	118	120	2	2
呼吸器外科	375 (89.7)	418	15	16	—	—
整形外科	82 (21.6)	380	5	5	—	—
心臓血管外科	— (—)	—	—	—	—	—
脳神経外科	83 (63.8)	130	9	14	—	—
麻酔科	1 (100.0)	1	—	—	—	—
眼科	— (—)	105	—	—	—	—
皮膚科	120 (86.3)	139	5	5	—	—
泌尿器科	707 (73.0)	968	32	32	1	1
婦人科	899 (79.0)	1,138	21	21	—	—
産科	— (—)	105	—	—	—	—
放射線科	227 (96.6)	235	7	8	1	1
合計	9,124 (81.3)	11,217	478	520	22	28

表5 診療科別・在院期間別・性別 退院患者数

科別	在院期間別性別	総数	在院期間別						平均在院日数
			1-7日	8-14日	15-30日	31-90日	91-180日	180日以上	
総数	男	5026	1582	1257	1359	740	78	10	19
	女	6191	3569	1225	868	473	50	6	12
内科	男	1956	577	474	554	308	40	3	20
	女	1000	314	249	278	143	16	—	19
神経内科	男	20	6	4	5	4	1	—	26
	女	18	7	4	1	6	—	—	23
小児科	男	268	146	19	46	42	13	2	22
	女	193	99	17	41	30	6	—	20
耳鼻咽喉科	男	172	28	42	27	70	5	—	34
	女	85	4	49	16	15	1	—	22
外科	男	979	265	314	288	105	5	2	17
	女	2907	2319	355	171	57	4	1	5
呼吸器外科	男	292	12	57	196	24	2	1	21
	女	126	12	27	83	3	1	—	18
整形外科	男	164	23	35	60	42	3	1	26
	女	216	19	41	61	83	8	4	38
心臓血管外科	男	0	—	—	—	—	—	—	—
	女	0	—	—	—	—	—	—	—
脳神経外科	男	80	10	21	35	13	1	—	21
	女	50	9	7	20	12	2	—	28
麻酔科	男	0	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	1	—	—	—	—	—	7
眼科	男	44	17	23	4	—	—	—	9
	女	61	23	36	1	1	—	—	8
皮膚科	男	72	20	36	12	3	1	—	14
	女	67	20	33	10	4	—	—	13
泌尿器科	男	798	448	200	102	42	5	1	11
	女	170	85	41	28	15	1	—	13
婦人科	男	0	—	—	—	—	—	—	—
	女	1138	595	317	139	75	11	1	12
産科	男	15	13	1	1	—	—	—	4
	女	90	52	33	2	3	—	—	8
放射線科	男	166	17	31	29	87	2	—	34
	女	69	10	16	17	26	—	—	24

表6 2005年病類別(大分類) 在院日数別患者数

疾病大分類	在院日数	計	1~7日	~14日	~30日	~90日	~180日	~181日 以上	平均在院 日数
合計		11,217	5,151	2,482	2,227	1,213	128	16	15.0 (168,647)
I 感染症および寄生虫症		51	16	19	12	4	—	—	12.6 (643)
II 新生物		9,461	4,390	1,994	1,912	1,035	115	15	15.2 (143,822)
III 血液および造血器の疾患 ならびに免疫機構の障害		34	13	9	4	7	1	—	24.4 (830)
IV 内分泌,栄養および 代謝疾患		48	13	17	17	1	—	—	13.3 (640)
V 精神および行動の障害		7	7	—	—	—	—	—	2.7 (19)
VI 神経系の疾患		21	9	4	6	2	—	—	14.0 (294)
VII 眼および付属器の疾患		106	40	59	6	1	—	—	8.8 (931)
VIII 耳および乳様突起の疾患		3	2	1	—	—	—	—	7.0 (21)
IX 循環器系の疾患		217	82	49	54	30	2	—	16.6 (3,606)
X 呼吸器系の疾患		179	57	60	44	15	3	—	15.8 (2,833)
XI 消化器系の疾患		292	88	114	66	21	3	—	14.9 (4,356)
XII 皮膚および皮下組織の 疾患		20	7	9	2	2	—	—	12.5 (249)
XIII 筋骨格系および結合組織 の疾患		137	14	20	48	52	2	1	30.9 (4,234)
XIV 尿路性器系の疾患		331	253	52	19	7	—	—	5.8 (1,919)
XV 妊娠,分娩および 産じょく<褥>		87	49	32	3	3	—	—	8.9 (777)
XVI 周産期に発生した病態		25	20	3	2	—	—	—	4.7 (118)
XVII 先天奇形,変形および 染色体異常		7	2	1	4	—	—	—	12.6 (88)
XVIII 症状,徴候および異常臨床所見・ 異常検査所見で他に分類されない		59	37	15	5	2	—	—	8.3 (489)
XIX 損傷,中毒およびその他の 外因の影響		108	29	23	23	31	2	—	24.8 (2,677)
XX 傷病および死亡の外因		0	—	—	—	—	—	—	0.0 (0)
XXI 健康状態に影響をおよぼす要因 および保健サービスの利用		24	23	1	—	—	—	—	4.2 (101)

() 延日数

良性平均在院日数 13.8 (総日数 28,864)

悪性平均在院日数 15.3 (総日数 139,783)